

もみじ

Vol. 10

2006.12
December



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL (082) 254-1818(代) FAX (082) 253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC175号一般病院



理念 県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

周産期医療施設オープン病院化モデル事業について

産科医師の減少に伴い、全国的にお産のできる医療機関が減少するなど、地域における産科医療が崩壊しかかっています。広島県においても3市6町でお産のできる施設がなく、この傾向は今後ますます加速すると予測されます。このような状況に対して厚生労働省は、地域の中核病院をオープン化して分娩施設を持たない診療所に開放し、病院と診療所が連携して、安心・安全な産科医療を確保するシステムを構築するため、オープン病院化モデル事業を行うことにしました。このモデル事業は、広島県を含む6県と東京都の7カ所で開始されます。

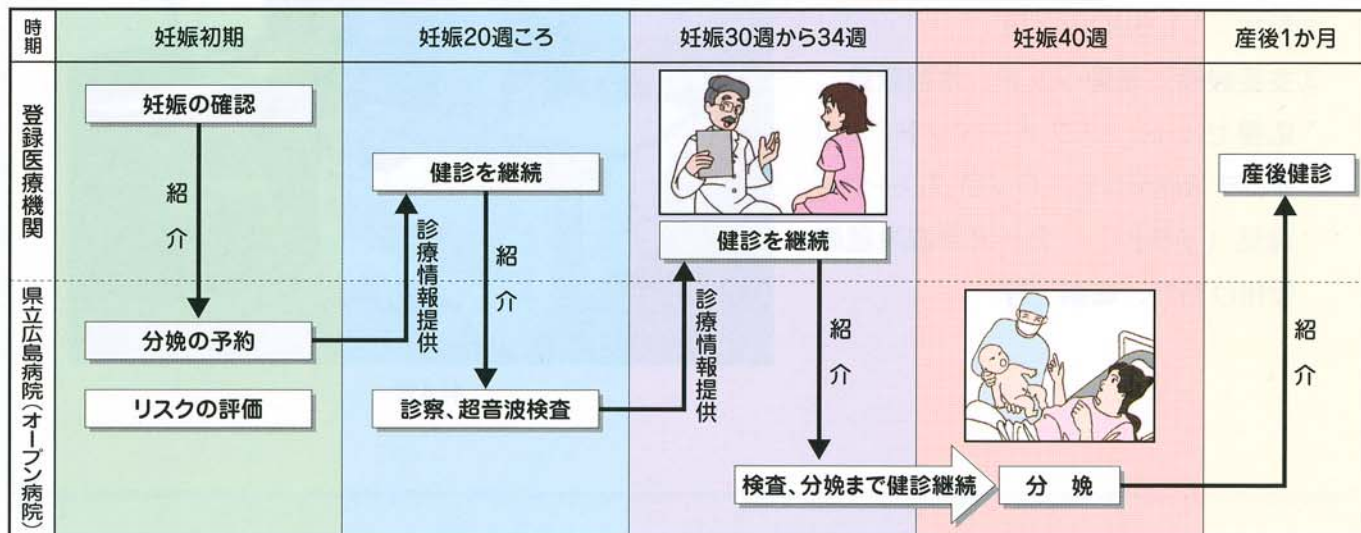
図のように妊婦健診や保健指導は登録された診療所で行い、オープン化病院（県立広島病院）では、診療情報の提供を受けながら2～3回妊婦健診を行い、特に異常を認めない場合は分娩時に来院していただきます。病院をオープン化することにより、人的資源や医療設備の有効利用、妊婦管理の標準化、ダブルチェックによる安全性の向上が期待されるほか、病院では外来診療の負担が軽減され、ハイリスク分娩などに対応できます。妊婦にとっては、妊娠期間中の病院受診によりスタッフとの意思の疎通が図れ、一方では、近くの診療所での妊婦健診による利便性が確保されます。また、異常を認めた場合や急変時の対応は病院が行いますので、安全性が確保されます。

このモデル事業は2年間行われ、その後、患者アンケート調査や医療機関による評価などにより課題を抽出し、本格実施に向けた検討が行われます。今後、このシステムが広く普及し、安心安全な周産期医療につながることを期待されます。



副院長・母子総合医療センター長
占部 武

オープンシステム 登録医療機関と県立広島病院の役割分担

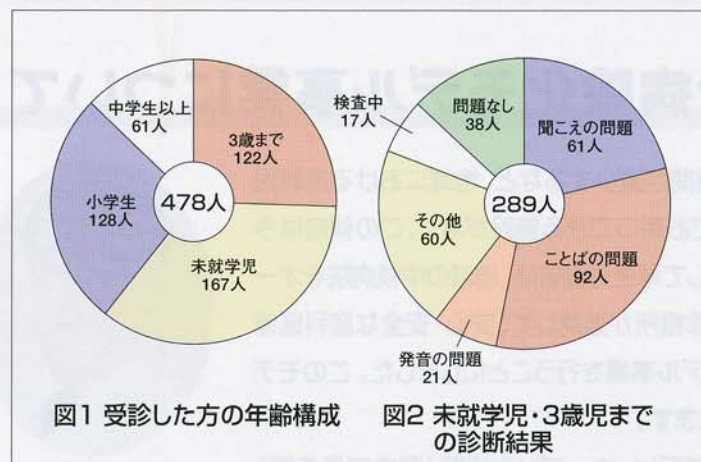


ことばの発達に問題があったら、なるべく早期に問題点を明らかにして、聞いたりしゃべったりする練習をした方が良い……このことは200年以上前から言われていることです。フランスで見つかった野生児を診察して教育したイタールという耳鼻科医が出した結論でした。

欧米では難聴やことばの遅れを専門にみる診療科が一般的にありますが、日本では、小児感覚器科のような診療科は数えるほどしかありません。開設前は本当に子どもたちが来てくれるのだら



小児感覚器科スタッフ(視覚部門と言語聴覚部門)



うかと思っていましたが、実際にはこの1年間で、500人近くの方が来院されました。6割が小学校に入る前のお子さんで、さらにその6割のお子さんに、しゃべる練習や経過観察が必要な聞こえやことばの問題がありました。

私たちがしていることを、子どもたちや保護者の方々に喜んでもらえるようにこれからもがんばります。

● 病室に、個室「特A室」を新設しました ●

患者様に、より質の高い療養環境を提供するため、次のとおり特A室を新設し、供用を開始しましたので、ご利用ください。

- ①病棟・病室：西5病棟 東5病棟
西6病棟に各1室、計3室
- ②料金：11,690円/日
- ③主要設備：電動ベッド、木製家具、
応接セット、ソファーベッド、20
インチ液晶テレビ、DVDプレーヤー、
電話(子機付)、2ドア冷凍冷蔵庫、
壁掛け時計、絵画 等



特A室

治験ってなあに？

—薬剤科—

「薬」を世の中に出すためには、GCP（患者様の保護と治療データの信頼性の確保を目的とした規則）に基づいて、色々な試験を積み重ね、有効性（効き目があるか？）、安全性（安全であるか？）などを調べ、その結果を国へ報告し、承認されれば「薬」として誕生します。

健康な方や患者様にご協力いただいて、「薬の候補」の有効性と安全性を調べるのが治験（臨床試験）です。

今、広く治療に使われている「薬」は、すべてこの治験を経て承認・販売されています。そこには、多くの健康な人や患者様の善意が根底にあります。あなたの善意で、今後あなたと同じ病気の治療薬が誕生する可能性があります。



① 治験に参加するメリットは？

● 最先端薬剤による治療

今使われている薬より効果が良い場合があります。

● 十分な観察、相談

治験に参加している間は、CRC（治験コーディネーター）が状態の確認や相談に応じます。

● 医療費の軽減・負担軽減費等

治験に関係する医療費は軽減されます。また、来院していただく時の費用が提供される場合もあります。

② 治験に参加するには？

当院でも色々な薬の治験を実施しています。

実施する治験計画と患者様の症状が一致した場合、主治医より治験参加の依頼があることがあります。説明をよく聞いて納得できたら是非参加してください。

もちろん、断っても不利益になることはありません。



● 寄附・寄贈について ●

県立広島病院の運営につきましては、多くの方々のご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、次のとおりご芳情をお寄せいただいております。これもひとえに皆様方の格別なるご高配の賜物と存じ、改めて厚くお礼申し上げます。

ご芳情を賜りました皆様のご芳名を次のとおりご紹介させていただきます。寄附金及び寄贈品は、患者様のために有効に活用し、ご寄付の趣旨に沿いたいと存じます。

今後とも、当院の運営に引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



広島東ロータリークラブ様から、患者様や来訪者の皆さんへのがん治療情報コーナーとして、臨床腫瘍科に書架、書籍等の寄贈を受けました。（平成18年10月26日）

◆ 寄附金をいただいた方々（平成18年4月～）

ご芳名	寄附受領年月日
株式会社西井製作所 様	平成18年8月29日
広島キリスト協会 植竹 利侑 様	平成18年8月 3日
川越 昭夫 様	平成18年6月19日
木本 厚 様	平成18年4月20日

◆ 寄贈品をいただいた方々（平成18年4月～）

ご芳名	寄贈品	寄附受領年月日
広島県厚生年金受給者協会連合会 様	車椅子	平成18年11月16日 平成18年 4月17日
広島東ロータリークラブ 様	書架、書籍等	平成18年10月26日
石井 浩子 様	書籍	平成18年10月23日
阿南 典子 様	書籍	平成18年 9月12日
田中 靖夫 様 (広島県厚生年金受給者協会連合会を通じて)	車椅子、車椅子用 点滴ポール	平成18年 6月 9日
南波 辰郎 様	書籍、文具用品	平成18年 4月24日 (以降、数回寄贈を受けています)
田原 久美江 様	書籍	平成18年 4月18日

※なお、この他にも多くの方々からご寄付・ご寄贈いただいておりますが、公表を了承いただいた方のみ掲載させていただいております。

